

II. 鳥取県の経済動向（2023年2月1日鳥取県公表）

1. 基調判断【持ち直しの動きが見られる】

一致指数は足元で雇用面などの指標が下振れるも、景気の基調としては、なお持ち直しの動きが見られる。先行指数は下向きの動きが続き、景気の先行きは持ち直しの動きに減速感も。

景気動向指数（D I ※1）		2022年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
一致指数※2	原指数	85.7	85.7	71.4	50.0	57.1	28.6
	7ヶ月平均	65.3	67.3	63.2	60.2	60.2	62.2
先行指数※3	原指数	50.0	50.0	57.1	42.9	21.4	33.3
	7ヶ月平均	50.0	55.1	57.1	54.1	48.0	44.1

※1 D I 指数 3か月前と比較して改善した指標の数÷採用された指標の数指数が50を割ると景気が良くないと判断される。

※2 一致指数 有効求人倍率、就職率、所定外労働時間指数、製造工業生産指数、実質百貨店販売額、人件費率、輸入通関実績（7指標）

※3 先行指数 新規求人数、生産財生産指数、日経商品指数、新設住宅着工戸数、民間金融貸出残高、信用保証申込額、不渡手形発生率（7指標）

2. 鉱工業生産動向【持ち直しの動きに足踏みが見られる】

一部で持ち直しの動きが見られるも、汎用・生産用・業務用機械や食料品・たばこなどが下振れ、全体の基調としては、なお足踏みが見られる。先行きは、原材料価格の高騰などの影響もあり、弱含む。

（前月比の単位：％）

鉱工業生産指数		2022年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
全体	生産指数	95.5	94.8	99.2	93.3	97.3	95.7
	前月比	3.5	▲0.7	4.6	▲5.9	4.3	▲1.6
	出荷指数	102.8	102.7	103.0	105.8	103.8	101.2
	前月比	6.7	▲0.1	0.3	2.7	▲1.9	▲2.5
	在庫指数	129.3	127.1	131.1	120.6	122.5	131.6
前月比	6.2	▲1.7	3.1	▲8.0	1.6	7.4	
電子部品・デバイス	生産指数	94.7	97.2	97.8	97.2	100.3	102.7
	前月比	4.9	2.6	0.6	▲0.6	3.2	2.4
電気・情報通信機械	生産指数	74.2	81.6	99.2	93.0	77.2	78.4
	前月比	38.2	10.0	21.6	▲6.3	▲17.0	1.6
食料品・たばこ	生産指数	101.9	93.1	92.3	96.2	96.0	93.3
	前月比	5.6	▲8.6	▲0.9	4.2	▲0.2	▲2.8
パルプ・紙・紙加工品	生産指数	105.4	108.5	99.2	92.5	108.3	104.9
	前月比	5.3	2.9	▲8.6	▲6.8	17.1	▲3.1

3. 消費動向【緩やかに持ち直している】

スーパーは前年同月比プラスとなるも、百貨店、ホームセンター・家電量販店はマイナスとなる。乗用車は、軽自動車が押し上げプラスを維持。消費全体としては、緩やかに持ち直している。先行きは持ち直しの動きに減速感も。

(単位：百万円、%)

大型小売店販売額		2022年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
合計	販売額	4,523	4,770	4,819	4,361	4,630	4,840
	前年同月比	1.0	2.7	5.7	5.4	6.1	1.6
百貨店	販売額	1,115	1,115	1,041	985	1,011	1,238
	前年同月比	4.2	4.6	13.2	5.5	0.9	▲3.9
スーパー	販売額	3,408	3,656	3,778	3,376	3,619	3,602
	前年同月比	0.0	2.1	3.8	5.3	7.7	3.7

○11月全体：48億円、前年同月比 1.6%増（7ヵ月連続）

○11月百貨店：12億円、〃 3.9%減（6ヵ月ぶり）

○11月スーパー：36億円、〃 3.7%増（7ヵ月連続）

(単位：前年同月比、%)

ホームセンター 家電量販店販売額		2022年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
合計		3.7	▲5.6	1.5	2.3	1.8	▲3.1
ホームセンター		1.6	▲4.7	0.2	▲1.0	2.6	▲3.4
家電量販店		6.0	▲6.5	3.0	5.9	0.6	▲2.7

○11月全体：26億円、前年同月比 3.1%減（4ヵ月ぶり）

○11月業態別

・ホームセンター：14億円、〃 3.4%減（2ヵ月ぶり）

・家電：12億円、〃 2.7%減（4ヵ月ぶり）

(単位：前年同月比、%)

乗用車新車新規 登録台数		2022年					
		7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計		▲3.1	▲13.2	31.1	31.9	0.7	4.7
登録車		▲9.6	▲6.8	34.5	21.8	3.4	▲5.9
軽自動車		5.9	▲20.5	27.4	43.6	▲2.3	21.1

○12月全体：1,514台、前年同月比 4.7%増（4ヵ月連続のプラス）

・登録車：5.9%減（4ヵ月ぶり：普通車 2.1%減、小型車 11.3%減）

・軽自動車：21.1%増（2ヵ月ぶり）

4. 雇用動向【着実に持ち直している】

有効求人倍率は前月比マイナスとなるも、新規求人倍率は大幅プラス。所定外労働時間は、一部で従業員の増減が影響した面もあるなか、食料品・たばこなどが押し上げ、前年同月比プラスとなる。基調としては着実に持ち直している。先行きは持ち直しの動きが見込まれる。

(単位：倍)

	2022年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新規求人倍率	2.67	2.91	2.99	2.76	2.61	2.90
前月差	▲0.13	0.24	0.08	▲0.23	▲0.15	0.29
有効求人倍率	1.51	1.57	1.58	1.59	1.53	1.52
前月差	▲0.01	0.06	0.01	0.01	▲0.06	▲0.01

(事業所規模 30人以上、2020年=100)

所定外労働	2022年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
調査産業計 (1人当たり時間)	9.7	9.8	9.5	10.0	10.0	10.1
労働時間指数の 前年同月比 (%)	7.7	8.9	10.4	5.2	7.5	4.0
うち製造業 (%)	0.6	11.5	6.3	2.1	2.1	1.3

5. 企業倒産動向

2022年の倒産件数は23件で前年比8件増、負債総額は32億5500万円で前年比54.0%増となった。内訳はサービス業が6件、小売業が5件、建設業・卸売業が各4件、製造業が3件、不動産業が1件となっている。

倒産件数23件のうち、19件が販売不振による不況型倒産で、残り4件は新型コロナウイルス関連倒産であった。また従業員数別では、10人未満が20件(前年13件)、10人以上50人未満が3件(前年2件)となっている。

年	倒産件数	負債総額	年	倒産件数	負債総額
2017年	22件	24億92百万円	2020年	19件	40億98百万円
2018年	22件	39億22百万円	2021年	15件	21億1400百万円
2019年	19件	29億21百万円	2022年	23件	32億5500百万円

6. 消費者物価指数(2022年)

2022年12月の鳥取市の消費者物価指数は、総合で104.2(2020年=100)となり、前年同月比は4.7%の上昇、前月比は0.3%の上昇となった。

前年同月比の変動に寄与した要因は食料、光熱・水道、交通・通信、住居、家具・家事用品、被服および履物、教養娯楽などの上昇である。前月比の変動に寄与した要因は食料、光熱・水道などの上昇である。

(2020年=100)

2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
98.4	99.9	100.4	100.0	99.3	101.9
1月	2月	3月	4月	5月	6月
99.8	100.2	100.5	101.1	101.3	101.0
7月	8月	9月	10月	11月	12月
101.7	102.5	102.9	103.7	103.9	104.2